

	シーズ名	機能性消化管障害、好酸球性消化管障害、胃食道逆流症に関する研究
	氏名・所属・役職	消化器内科学・講師・田中 史生 (TANAKA, Fumio)
<p><概要></p> <p>機能性消化管障害とは機能性ディスペプシア、過敏性腸症候群に代表される疾患で、内視鏡検査など各種の検査で異常はみつからないものの、機能的な異常を来している状態です。例えば消化管の運動機能障害や、知覚過敏が原因の一部を担っています。その有病率は一般人口の約 10~20%と非常に高く、生活の質が低下している患者様は大変多くいらっしゃいます。機能性ディスペプシアに対する簡便なバイオマーカーは未だ開発されていないため、我々は胃液中エクソソーム由来マイクロ RNA の発現解析を用いて、バイオマーカーとしての有用性を検討しています。</p> <p>また飲食の欧米化や、食餌抗原や吸入抗原へのアレルギーを有する方が増加していることに伴い、本邦での胃食道逆流症や好酸球性食道炎患者は増加しています。我々はそれらの疾患の病態生理、診断、治療などについても研究を行っています。</p> <p><アピールポイント></p> <p>機能性ディスペプシアは本邦のみならず欧米においても有病率の高い疾患であるため、本シーズで得られるバイオマーカーは社会的に大きな影響を及ぼし得ると考えます。すなわち、将来的に実地臨床において幅広く使用される検査項目となり得る可能性を有していると考えます。</p> <p>また慢性アレルギー性疾患である好酸球性食道炎は今後さらに増加していくことが予測されており、本研究成果が世間に及ぼす効果は大きくなっていくものと考えられます。</p> <p><利用・用途・応用分野></p> <p>胃液中のバイオマーカー発現量を解析することにより、機能性ディスペプシアの診断や治療効果判定などに利用されます。一般診療のみならず、人間ドックの検査項目としても応用可能です。</p> <p><関連する知的財産権></p> <p>なし</p> <p><関連するURL></p> <p>https://ocu-gastro.jp</p> <p><他分野に求めるニーズ></p> <p>なし</p>		
キーワード	機能性消化管障害、好酸球性消化管障害、胃食道逆流症	